

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 常葉大学大学院初等教育高度実践研究科
	事業名：学び続ける教員育成を目指す地域とのコラボ研修の可能性
	研修等名：【NITS・常葉大学教職大学院コラボ研修②】 指導と評価の一体化を実現する「新しい教育評価」の方法
	開催日時：令和4年10月24日(月) 午後2時～4時30分 開催場所：常葉大学静岡草薙キャンパス 常葉大学センター 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1 参加人数：一般参加教員(28)、教職大学院生(19)、大学教員(6)、計 53名

内容：※全体発表の内容をテーブ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

講師として、中央教育審議会教育課程部会の委員等を歴任され、先進的な教育評価研究で注目を浴びる京都大学大学院教育学研究科の西岡加名恵氏をお招きした。2時間半の本研修全体を通してパフォーマンス評価の理論と実践をより効果的に学べるように、講演、グループワーク、まとめの時間割り振りや会場設定については、綿密な事前打合せを行い西岡先生がご指導しやすいように計画した。

最初の講演は、「資質・能力を育てるパフォーマンス評価」を演題とし、資質・能力論の解説に続き、それを実現するための新しい学習評価であるパフォーマンス評価、パフォーマンス課題の重要性とその具体的な方法について学んだ。全国の小・中・高の各学校で実践された豊富な授業例を紹介していただきながらの講義は、大変わかりやすく、パフォーマンス課題の必要性和魅力を大いに実感することができた。

後半のグループワークは、参加者自身がパフォーマンス課題づくりに挑戦したい教科を選択し、教科別グループに分かれて行った。国語、算数・数学、社会、理科、英語の5教科の全11グループを編制した。それぞれに教科書を持ち寄り、西岡先生から示されたワークシートに基づきながら、単元選択、「本質的な問い」や「永続的な理解」の検討、そして、パフォーマンス課題のシナリオづくりに取り組んだ。この課題づくりを初めて経験する参加者も多く、最初は戸惑いを感じたようだが、教科別グループなので協議もしやすく、熱心な議論が交わされた。最後に、各グループで作成したパフォーマンス課題を発表し、西岡先生から個々の課題について丁寧な指導：助言をいただいた。今回は時間の関係でパフォーマンス課題づくりまでしかできなかったが、今後は、それに対して児童・生徒が生み出した作品をどう評価するのかというルーブリックづくりも学びたいという要望も数多くあった。

成果：【事後アンケート結果】

- 1 本研修全体を通して、この研修は有意義でしたか：とても有意義(94.7%) 概ね有意義(5.3%)
 - 2 講演会の内容について：大変よかった(94.7%)、概ねよかった(5.3%)
 - 3 グループワークの内容について：大変よかった(78.9%)、概ねよかった(15.8%)
- <自由記述より>「評価に悩んでいたので参考にできそうです」「理論と実践の部分がわかりやすかった」「パフォーマンス課題の大事さがよくわかった」「たくさんの資料は今後の教員研修や指導に活用したい」「2.5時間の研修であったが、1日研修でもよいと思った」「時間はもっと欲しかったがとても有意義な時間を過ごせた」

アイデアや工夫したこと：※3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ①現場ではほとんど学ぶ機会のない「パフォーマンス評価」という新しい評価方法についての研修を提供したこと。
- ②講師と事前に Zoom で打合せを行ったことにより、より効果的な研修にするための案内方法、事前学修資料の提供、教科別グループ編制、教科書持参等の準備を整えられたこと。
- ③8月のコラボ研①に引き続き、本学の地元である清水七中校区小中一貫校(小2校、中1校)校長の理解と協力を得て、多くの教員が受講し、大学との地域連携が更に進んだこと。
- ④教職大学院生が共通科目として受講した「学力・態度評価論」のテキストである「新しい教育評価入門」(有斐閣)の著者である西岡氏をお招きできたことで院生の研修意欲と学修効果が非常に高まった。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

講義中の様子①



演習中の様子 単元設定テンプレートに記載しながら進めました



講義中の様子②

